

ダイアボンド DA730SPクロ

ダイアボンドDA730SPクロは、ビニル樹脂を主成分とするグラスウールなどのホツレ止め、表面被覆塗料です。乾燥が速く、皮膜が難燃のため、難燃材料として好適です。

§ 一般性状

主成分	ビニル樹脂
外観	黒色
不揮発分 (%)	30 ± 2
粘度 (mPa·s) at20°C	100 ~ 250
指触乾燥時間 (分) at20°C	2
保証期間 (月) at25°C	12
引火点 (°C)	-17
発火点 (°C)	538

§ 使用方法

- 前処理 被着材表面の水分やゴミ、油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
- 塗布方法 被着材の塗布面にダイアボンドDA730SPクロをスプレーで、均一に塗布します。  
塗布量は、一般に 200~300 g/m<sup>2</sup> を標準とします。
- はり合せ 常温にて 20 分以上乾燥して下さい。

§ 燃焼試験

- 自動車室内用有機資材の燃焼性試験

着火	消炎	燃焼長	燃焼率	遅延性	自消性
1 秒	1 秒	0 mm	—	1 級	有

試験方法：MVSS 302, JIS D 1201 に準ずる

2. 建築物の内装材料および工法の難燃性試験

発熱量 (°C min)	発煙量 (発煙係数 CA)	残炎 (秒)	亀裂変形など
0	26	0	なし

試験方法：JIS A 1321 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、口に水を注ぎ、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗って下さい。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5°C～35 °Cで保管して下さい。
- ・ 器具の洗浄には酢酸エチルやメチルエチルケトンをご使用下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭きとって、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）に該当

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。